



1ヶ月に1回発行。弘前大学生協の活動をお知らせいたします。

弘前大学生協同組合のホームページは、「弘前大学生協」で検索！

## Vol.118

### 健康応援フェスティバルを開催しました。



開催日：12月12日(木)・13日(金)

開催場所：食堂Horest

参加者数：約200名(2日間計)

文京食堂Horestでは、例年行っている管理栄養士による食生活相談会をもとに、今回は弘前大学COI研究推進機構、青森県生活協同組合連合会との協力・連携を行い、「健康応援フェスティバル」を開催しました。例年の食生活相談だけでなく、各種の体験や健康チェックを行いながら、自身の健康や食生活を振り返るきっかけにしてもらうことが目的です。

来場者は、野菜摂取量測定(カゴメ株式会社)、冷え測定(クラシエホールディングス株式会社)、自律神経測定(株式会社ファンケル)や体組成、血圧測定などの健診機器による健康チェックを行い、管理栄養士から食生活についてのアドバイスを受け、興味のあるコーナーで熱心に話を聞いたり、全ブースを体験するなど楽しみながら自身の健康チェックを行っていました。好評だったので来年度以降も継続して開催していきます。

食堂Horest 店長 坂巻秀樹



- ▶ 食生活アドバイス
  - 管理栄養士による食事相談・アドバイス
- ▶ 健康チェック
  - 野菜摂取量・冷え・自律神経・立ち上がり・体組成
  - 骨密度・血圧の測定

### 日本酒「弘前大学」2/5(水)～新酒 販売開始！

今年も新酒の時期になりました。日本酒「弘前大学」は国立大学が日本酒の醸造・販売に携わった第1号です。通年販売はされていますが新酒は今の時期だけ。時代背景やたくさんの人の思いで作られた日本酒「弘前大学」。その思いを馳せながら飲んでみるのはいかがでしょうか。

取扱店舗：文京地区 Cerisier・SHAREA / 医学部地区 FERIO・Clover

弘前大学生協では、日本酒「弘前大学」の売上の5%を弘前大学基金(弘前大学修学支援基金)として寄付しています。



## 議決事項



三浦専務補佐

**第1号議案 「ハラスメント防止に関する規程」の改定について**

**第2号議案 「旅費精算システム」のシステム改修費用の決済について**

**第4号議案 正規職員の人事異動について**

第1号～第4号について すべて全会一致で可決承認されました。  
第3号議案は、報告事項に変更しました。

## 審議事項

**第5号議案 店頭利用時の書籍値引きのポイント制への変更について**

書籍値引きを取りやめ、2020年度途中よりPico利用でのみ割引額をPicoポイント付与に変更することについて提案があり審議しました。この議案については、組合員への周知を徹底することが必要だと意見がありました。再度次回常務理事会で検討することとしました。



理事会の様子

**第6号議案 2019年決算方針について**

12月を終えての決算見込みから現時点での決算処理の予定、2月が年度最終月であることから、決算処理の最終確定を常務理事会に一任することの提案があり審議しました。この議案については、提案の通りすすめ次回の理事会で再度提案することになりました。

**第7号議案 総代会議案について**

定款他5件の規約・規則の改定を総代会議案とすることの提案があり審議しました。この議案については、次回理事会で再度提案し、意見をいただくこととしました。

**第8号議案 総代会での組合員活動の時間について**

総代会での組合員活動の時間について、SDGsへの理解と、SDGsの達成に向けて生協ができること、やるべきことについて理解を深める時間にするための提案があり審議しました。この議案については、班内ワークでは「SDGsの活動に当てはまるものを出してもらおう」ことが総代にとってやりやすいと思う、という意見が出された。いただいた意見を踏まえて内容を深めていくこととしました。

詳しくは弘大生協ホームページ・理事会の議事録・発言録をご覧ください。

## 【職員人事】

早川 桂 2月1日付けでたびshop店長の任を解きCerisier店長専任とする  
上遠野 泰 2月1日付けでたびshop店長に任じ、専務補佐次長と兼任とする

## 募金取組 ご報告

2019年9月に行っていた「台風15号千葉県災害義援金」へ5,081円、10月～1月に行っていた「2019年台風19号被害緊急支援募金」へ12,430円、追加で送金がありましたのでご報告いたします。

総計で「台風15号千葉県災害義援金」へ19,737円、「2019年台風19号被害緊急支援募金」へ33,640円送金しました。たくさんの方のあたたかいご支援ありがとうございました。



# REPセッション#6

開催日：1月16日(木) 場所：大学会館2階Scorum  
参加人数：43名(総代17名・学生委員会21名・生協職員5名)



今年度は、総代の自主性を高めるべく活動していたため、前期の参加者は多くなりましたが、後期に入ってから参加者が減ってしまったので、来年度以降は、通年でたくさんの総代が参加し、生協に対する意見を出してもらいたいと思います。

生協学生委員会 農学生命科学部2年 福島宏太

今回は、今年度最後のREPセッションでしたが、テスト期間が重なっていたこともあり、総代があまり参加することができませんでした。参加してくれた総代は、何度か参加していた人が多く、少人数ではありましたが、オードブルを囲いながらとても賑やかな会になりました。



組合員は、生協の運営にかかわる権利が与えられます。しかし、組合員は学生の数だけ存在し、そのすべての人が一つの場所に集い意見交換することは不可能です。そこで、組合員のなかから代表を選び、まわりの組合員の意見をこの代表がまとめ、そしてこの代表が集まった方が効率がいいわけです。この代表となる人を総代と呼びます。

## 特産品プロジェクト(学生委員会)

この会では、青森の郷土料理や、青森の特産品を用いた料理の試食を行い、せんべい汁、しとぎ餅、リンゴとキャベツの浅漬け、長芋のバター醤油炒めの計4品を提供しました。また、「特産品講座」として、青森の特産品紹介や、簡単に作れるレシピなど、組合員のみなさんに向けて、食に関する楽しく生活に役立つ情報を紹介しました。

開催日：12月7日(土) 11:50~13:10  
場所：食堂Horest  
参加人数：100名



### 【参加者感想】

- 簡単に作れそうな料理が多かったので自分でも挑戦できそう。(学生・男)
- 青森のおいしさを堪能できました。県外の学生にもっと知ってほしいのでどんどん企画をやってほしいです。(学生・女)

この企画に参加し、実際に地域の特産品、郷土料理を試食したことをきっかけに学生組合員のみなさんにも、郷土料理に関心をもち、普段の生活のなかに特産品を取り入れてその魅力を感じ、またこれからの学生委員会の活動でも、地域の特産品を身近に感じられるような「食」をテーマにした企画ができればと思います。

生協学生委員会 人文社会科学部2年 島貫紗智乃



# 学生総合共済からのお知らせ

## 1月の給付状況

|            |     |
|------------|-----|
| 病気入院       | 7件  |
| 病気手術       | 4件  |
| 事故入院       | 1件  |
| 事故手術       | 1件  |
| 事故通院・固定具使用 | 14件 |
| 本人死亡       | 1件  |
| 父母扶養者死亡    | 1件  |
| 計          | 29件 |

給付金額

**2,684,000円**

## たすけあいアンケートより

「いつどこでケガや病気になるかわからないので、このような共済はきっと自分のためにも他の人のためにもなる“たすけあいの共済”だと思います。たすけられた私としてはとても感謝しています。」

(教育学部2年 急性腎不全 入院8日)

共済金 80,000円



たすけあい

## 弘大オリジナルネクタイ販売開始!

弘前大学徽章入りネクタイ(2,970円税込)を販売中!

こちらは1年生向け講座「学びと体験・出発(たびだち)講座」での「企業と関わるチャレンジプログラム」の一環で洋服の青山様とコラボした商品のため期間限定商品となります。卒業・入学の記念に、就職活動に、贈答用にもおすすめです。ぜひこの機会にお求め下さい。

※店頭のみでの販売となります。

取扱店舗: 文京地区 SHAREA / 医学部地区 FERIO・Clover



### 《企業と関わるチャレンジプログラムとは…》

自らが企画・運営・振り返りを行うことで主体的に行動することや、チーム内での役割、調整力など社会に求められる力を学びます。また、チームで動くときの自分自身の強みや課題を明らかにしていき、自分という価値を高めていきます。

## もちつき開催しました。



1月8日(水)、食堂Horest前にて「もちつき」を開催しました。

当日、自由参加で約1時間開催。お友だち同士や留学生の方などたくさんの方に参加していただいたつきたてのおもちは、食堂内でふるまいました。

## 編集後記

暖冬で今期は何回雪かきをした?という位雪が降らない。例年そんなことを言っていれば、ここぞとばかりに冬将軍がやってきて、「やっぱりな…」となるのですが今年は本当に降らないですね。弘前は雪かきが大変な地域なので、雪かきがないと楽でいいなあ~と思うのですが雪が降らなくて困ることも。冬のイベントやスキー学習、雪解け水が少ないことから夏の水不足も心配されます。降れば降ったら大変と言ひ、降らねば降らないと言ひ、つくづく人は勝手な生きものだなあと思います。(SHIMO)